

なんぶほいくしよにいったよ

7月14日になんぶほいくしよにあそびにいきました。なんぶほいくしよについたあと、まず、にもつをおいてじこしうかいをしました。

じこしうかいでは、学年と名前を言つて、がんばっていることを言いました。そのあとに、年長さんと年中さんと、水あそびをしました。なにをつかったかは、マヨネーズの空のいれものをつかっていろいろな人に水をかけました。その時の気もちは、たのしかったし気もちよかったです。

また、ほいくえんの人と水あそびをしたいです。



(三浦小学校 2年 西澤 遊海)

かんしゃして生活したい

夏休みの登校日に、平和学習がありました。

読み聞かせや話を聞いて、知ったことが2つあります。1つ目は、ひこうきで人が多い場所に爆弾を落とされていたことを知りました。空しゅう年表を見たら、高知は5回もばくだんを落とされていてびっくりしました。でも、それにくらべて東京などは、ほぼ毎日くらいたくさんばくだんが落とされたそうです。

2つ目は、せんそうが始まったら学生たちは勉強もせずに、へいたいさんのためにはたらいていたということを知りました。お金は全部、へいたいさんの食べ物などに使っていたと本に書かれていました。

私は平和学習をして、今たくさんごはんを食べられていること、学校に行けていることなど、たくさんのかをふつうだと思わず、かんしゃして生活したいです。



(南郷小学校 3年 大島 大空)

キリバス留学記

8月6日から29日まで南太平洋のキリバス共和国に留学し、防災意識についての調査を行いました。地球温暖化による海面上昇で国土が失われる厳しい現実には直面する人々ですが、「自由」や「信用・信頼」を大切にし、互いに助け合いながら生活をしていました。明るく前向きに生きる姿に心を打たれると同時に、防災には知識や施設だけでなく、人とのつながりや信頼が欠かせないことを学びました。

今回の経験を通して、日本でも地域の絆を生かした防災の在り方を考えていきます。



(大方高校 2年 西脇 羽南)